

本校の教育目標:「知性を磨き」「意志を鍛え」「健康な心とからだをつくる」



木曾中学校だより

2026年度－6月号－

令和8年6月2日発行
町田市立木曾中学校
校長 大山 茂登

Tel. (042) 792-3081
木曾中で育もう15歳のあるべき姿を

6月を地道にしっかり乗り切ろう

校長 大山 茂登

1学期も2か月が過ぎ、後半に差し掛かりました。先だって5月30日には第44回体育祭を実施しました。「輝紡(きぼう)」というスローガンのもと、「一人ひとりが大いに輝き、仲間とのつながりを大切に紡いでいきたい」という強い思いを胸に、ひたむきに準備を重ねてきました。

当日は夏を思わせる強い日差しの中、これまでの成果を存分に発揮する素晴らしい体育祭となりました。特に3年生の団体種目「大ムカデ」では、3年生全クラスの生徒が1つの輪を作り、学年の団結を誓い合ったのち、クラス全員が一つの長い列につながり声を掛け合い、足並みを揃えてゴールを目指す姿は、まさにチームワークの大切さを肌で感じ、クラス・学年の一体感を味わうことができた、何物にも代えがたい貴重な時間となりました。

今年度の体育祭では、新しい熱中症対策も大きな力を発揮してくれました。生徒席に設置された日よけ用のタープは、昨年度に町田市が実施したふるさと納税による「学びの未来デザインプロジェクト(ガバメントクラウドファンディング)」において、多くの皆様から木曾中学校にいただいた貴重な寄付金を活用して購入したものです。また、昇降口のミストシャワーについては、生徒会が中心となって数年にわたり地道に進めてくれたベルマーク回収活動と、このクラウドファンディングの資金によって設置することができました。

地域の皆様からの温かい応援、そして生徒たちの努力がこのような素晴らしい形で結実し、安全な環境の中で体育祭を挙行できましたことを、改めて深く感謝申し上げます。また、当日の受付や自転車誘導、片付けなどにご協力いただいた保護者の皆様、そして温かいご声援を届けてくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。

体育祭という大きな行事を終え、いよいよ今月からは、本格的な梅雨の季節を迎えます。雨の日が続くと気分が沈みがちになることもあります。雨のおかげで自然は潤い、私たちの生活環境も豊かになっていきます。梅雨の時期は外出や活動が制限されることもありますが、その時々状況に対応しながら、その中でできることを見つけて前向きに過ごす習慣を身につけていきたいものです。

6月は、木曾中学校において進路説明会や定期考査も予定されています。体育祭で仲間と「輝き、紡いだ」あの熱量と集中力を、今度は自分自身をしっかりと見つめ、将来に向けて自分の力を蓄えるために、学習や読書にじっくり取り組む時間を持つよう、上手に気持ちを切り替えてほしいと思います。

梅雨の時期は気温や湿度が急に変わりやすいため、体調を崩さないよう注意が必要です。蒸し暑さが増すこの季節は、熱中症のリスクも高まります。こまめな水分補給はもちろん、登校の際には飲み物を多めに持参することを心がけましょう。「十分な睡眠」と「栄養バランスの整った食事」を意識して、元気にこの季節を乗り切りましょう。



第 44 回体育祭を開催！！

今年度の体育祭は、初夏を思わせる暑さの中での開催となりました。そのような中でも、生徒たちは最後まで全力で競技や応援、係活動に取り組み、一人一人が輝く姿を見せてくれました。

今年のスローガンは「輝紡」でした。一人一人がそれぞれの場面で輝きを見せ、その輝きが結び合わせた結果、大きな力と想いが紡がれていきました。当日は、競技に全力で挑む姿はもちろん、仲間を励ます声や互いを支え合う姿が見られ、まさに「輝紡」を体現する一日となりました。

また、今年度はガバメントクラウドファンディングによって購入したタープを活用し、生徒たちの暑さ対策を行うことができました。多くの皆様からいただいたご支援が生徒たちの安全で充実した活動に繋がっていることを改めて実感しました。そして、体育祭の開催にあたり、温かいご声援をいただいた保護者の皆様、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいているすべての皆様に心から感謝申し上げます。皆様の支えがあってこそ、生徒たちは安心して挑戦をし、大きく成長することができます。引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

2026年度 生徒総会の報告

先日、今年度の生徒総会が開催されました。全校生徒が生徒会の会員であるという自覚を持ち、終始真剣な態度で議事に臨む姿が見られ、大変有意義な総会となりました。

今年度の大きな特徴として、環境への配慮と業務の効率化の観点から紙の議案書を廃止し、クロームブックを活用した点が挙げられます。スプレッドシートの共同編集機能を用いて各委員会の議案書をまとめるなど、生徒会役員と中央委員会を中心に、生徒たちが主体となって入念な準備を進めてまいりました。

審議では、各委員会の今年度の活動方針がすべて承認されました。また、今後の効率的な生徒会運営および次年度への確実な引き継ぎを見据え、「生徒会役員（庶務）の学年定員数を、2 学年から 2 名、1 学年から 2 名とする」という新たな制限が提案され、慎重な審議を経て承認されました。

時代の変化に対応しつつ、自らの手でより良い学校を築こうとする生徒たちの主体性と成長が感じられる素晴らしい機会となりました。保護者・地域の皆様におかれましては、今後とも生徒会の活動をあたたく見守り、ご支援いただきますようお願い申し上げます。